

株式会社 G.M.G.

外国人技能実習の受け入れサポート体制

株式会社G.M.G.（山梨県）は、平成18年8月1日に設立され、重量物の移動や組立てをはじめ、主な事業内容は、とび土木工事、石工事、鋼造物工事機械器です。

近年、日本国内の人材不足が深刻化する中で、多くの企業が外国人技能実習生や特定技能者を積極的に受け入れ、業務の基盤を支えています。同社もその一社です。

重量物の移動・組立業務で活躍する外国人実習生

現在、技能実習生2名と特定技能者2名が在籍し、主に重量物の移動や組立といった仕事に従事しています。約5年前から外国人材を受け入れ始め、実習生たちの貢献により安定した売上を維持しているといいます。「外国人実習生がいなければ、会社の成長も今のようには実現できなかった」と会長が話してくれました。

外国人実習生とのコミュニケーション

異なる文化・言語を持つ外国人実習生と円滑にコミュニケーションを取るため、様々な工夫をしています。たとえば、毎朝の顔合わせで健康状態や服装を確認したり、同じ国籍の先輩社員が新人の実習生を指導することで、業務内容を理解しやすい環境づくりがされています。言語面でも、実習生が理解しやすいように簡単な日本語を使って会話することを心がけています。

異国での生活を支えるサポート体制

日本の生活に慣れていない外国人実習生が安心して働けるよう、生活面でのサポートも行っています。週二回実習生の寮を訪問し、キッチンやお風呂、トイレなどの生活スペースの点検や改善を行うほか、社員の先輩が生活に必要な知識を共有するなど、相互サポートの体制を整えています。このように、実習生と日常の多くの時間を接している企業だからこそ、組合の担当者より正しい指導を行うことができると考えております。この指導方法こそが本来あるべき形だと信じています。

未来に向けたビジョンと課題

国内で進む人材不足への対策として、外国人材を重要な戦力と位置づける同社は、今後も外国人技能実習生や特定技能者の受け入れを継続していく方針です。「日本人と外国人の区別なく、全員が協力しながら会社の発展を目指していく」と話してくれました。

株式会社G.M.G.は、日本国内の建設土木業界で外国人実習生が担う役割を更に広げ、異文化交流の架け橋となることを目指しています。同社の取り組みは、外国人実習生の力が会社に大きな成長をもたらし、日本の産業にも貢献し得ることを示す好例といえるでしょう。



代表取締役会長 玄間 辰也 様

